

小糸公民館

1 基本方針

- (1) いつでも誰でも気軽に集い・学ぶことのできる場作りを推進する。
- (2) 地域住民の生活実態や意識をつかみ、課題に即した学習活動を展開する。
- (3) 各種団体、利用サークル等の活動支援・育成に努め、地域連帯意識の高揚と協同の輪づくりを行う。

2 令和5年度の成果と課題

【成果】

- ・発達障害や特別支援教育をテーマに、「“困った子”は“困っている子”」と題した教育講演会を開催した。障害についての理解を深める機会を提供できたと同時に、約100名の参加者からは満足度90%を超える高評価を得ることができた。
- ・文化祭特別企画「没後100年 小糸出身の画家 柳敬助の生涯」では小糸出身の画家を取り上げることで、郷土偉人の再発掘や再評価を図ることができた。さらに、現在の地域住民に対して周知や理解を広める機会となった。

【課題】

子育て支援関連事業は一定以上の効果があり、参加者の満足度も高い。一方で高齢者を対象とする事業や、防災・健康づくり・趣味教養をテーマとする事業については今後拡充できる余地がある。令和6年度は子育て支援関連への重点化を継続していきながら、子育て世代以外への学習・活動機会の提供を展開する。

3 令和6年度の重点目標

- (1) 小糸公民館の民主的な運営体制づくりを進める。
- (2) 地域の広報誌として、地域公民館だより「こいと」発行事業の充実を図る。
- (3) 家庭教育関連事業（家庭教育学級、プレイルーム事業）を拡充し、全市的な子育て支援政策・活動支援に寄与する。
- (4) 青少年や高齢者等、幅広い世代を対象とする事業を展開する。
 - ・青少年を育む各種団体と連絡調整を図り、連携体制を強化する。
 - ・高齢者の健康・生きがい形成に寄与する事業を実施する。
 - ・健康や趣味教養をテーマとする事業を実施する。
- (5) 地域の防災力を高める学習機会を提供する。
- (6) 公民館利用サークル・各種団体の育成や活動を支援する。
- (7) 中央図書館小糸分室の環境を整備し、読書活動を推進する。

4 令和6年度の重点取組分野及び主な予定事業

重点取り組み「子育て支援関連事業の充実化」

当館は市内公民館でも数少ない子育て支援施設「プレイルーム」を有し、広場サポーターが勤務している。また管内には保育園や小中学校、児童養護施設がある。

市の施策はもちろん、全国的にも「異次元の子育て支援政策」が謳われていることを背景に、当館の特徴を最大限に活用し、関連機関との連携を視野に入れながら子育て支援関連事業の充実を図る。

主な予定事業…プレイルーム事業、家庭教育学級、小糸親子教室

5 令和6年度の事業計画

(1) 公民館運営審議会

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
1	小糸・清和地区公民館運営審議会	公民館事業の企画・実施、施設整備について総合的に調査審議すると共に住民の意見を反映する。 ◇年間4回の実施 ◇館長の諮問に対する答申	5月～3月 4回	公運審委員 8名	清和地区と開催 事務局 小糸公民館

(2) コミュニティ活性化事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
2	公民館だより「こいと」発行	公民館活動や地域活動等の周知を図るために、公民館だよりを発行し、地域の情報発信基地としての充実を図る。	年4回 (6、10、12、2月発行を予定)	地区全世帯各機関など	編集委員5名
3	第53回小糸地区文化祭	「集う楽しみ 学ぶ喜び つながる小糸」をテーマに、地区内の教育・文化・産業等の成果を発表・展示し地域住民の交流の場とする。	10月 26日 (土) 27日 (日)	サークル団体・機関、地域住民	実行委員会を設置
4	利用者懇談会	公民館利用団体・サークル相互の交流や公民館利用に関する理解を深めるとともに、公民館活動の発展を図る。	5月 8日(水)	小糸公民館定期利用サークル・団体	
5	利用者移動研修	◇利用者懇談会 5月8日(水) ◇利用者美化活動 5月22日(水) 10月18日(金)	2月5日 (水)		

(3) 青少年教育事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
6	子どもキャンプ	自然の中での共同生活を通して、異年齢集団での仲間づくりや、大人(青少年相談員)との交流を図る。	7月 13日(土) 14日(日) 6月29日 事前研修	小学校 4～6年生 20名程度	青少年相談員と共催
7	チャレンジスクール	体験活動に挑戦し、参加者同士が交流することで協調性を養う機会とする。 ◇移動教室 ◇工作体験 等	8月～3月 5回	小学3～6年生40名	
8	小糸親子教室	親子(家族)活動を通して、お互いの立場を理解し合う。また地域の家族同士が交流する機会とする。 ◇調理活動(パン、太巻き作り) ◇移動教室 ◇スポーツレクリエーション活動	6月～3月 7回	小学生とその保護者15家族程度	同実施 一部「小糸家庭」 と合

9	教育講演会	次世代を担う子どもを健やかに育む人間関係作りを支える団体、機関等の連携を深める場とする。	12月7日 (土)	周東中学校生徒及び一般市民	清和地区青少年健全育成連絡協議会と共催
10	20歳のつどい	20歳の節目となる門出を祝い励ます行事を通じて、成人を迎えた自覚を持つことのできる機会や、地域住民との交流を深める機会を提供し、青年教育の推進、地域の活性化を図る。 ※R7年(R6年度)より、清和地区と合同開催。	式典 令和7年 1月12日 (日)	周東中学校区の対象者	対象者を中心に 実行委員会を組織

(4) 課題解決学習推進事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
11	小糸家庭教育学級	子どもを健やかに育てる知恵や工夫について継続的に学び、主体的に活動する土台作りを進めることで、より良い人間関係作りと地域作りを目指す。 ◇レクリエーション(ヨガ、モルック) ◇調理活動(竹ごはん、太巻き等) ◇講座〔スマホとのかかわり方、イヤイヤ期の乗り越え方等〕	6月～3月 11回	乳幼児・小学生を持つ保護者 25名程度	合同実施 一部「小糸親子教室」と
12	地域子育て支援拠点事業 (プレイルーム)	子育て支援を進めるため、プレイルームの効果的な利用と運営について利用者等関係者と協議し、室内等の整備を行う。また子育て中の保護者や子どもを対象に、季節に応じた事業を企画・運営する。 ◇Let's Play事業(年2～3回) (ままごとキッチン作り、パン作り) ◇ボードゲーム大会(年2回) ◇文化祭子ども実行委員会		乳幼児と保護者・一般・児童	
13	高齢者学級 いきいき学級	いつまでも健康で生き生きと過ごせるよう、生活・社会・趣味・健康等に関する活動を行う。 ◇理学療法士による介護予防(腰・膝) ◇軽スポーツ体験等 ◇携帯電話の使い方講座等 ◇健診結果から考えるフレイル予防(アルツハイマー型認知症)	7月～2月 7回程度	60歳以上 30名程度	

14	防災講座	災害への備えとして、避難所設置訓練及び炊出し訓練を体験する。	R7. 2～3月頃 (調整中)		
15	(仮) こいとまち歩き	小糸にまつわる史跡や偉人、自然等の見どころを歩いて巡ることで、小糸地区への関心を広げ、地域への理解を深める機会とする。	秋頃 (調整中)	一般成人	

(5) その他

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
16	社会体育推進活動	各サークル、団体の活動援助及び地域の各種スポーツ大会への協力・援助のほか、小糸レインボークラブの活動支援を行う。	通年	地域住民	
17	読書推進活動	<ul style="list-style-type: none"> ・図書利用の拡大に努め、読書グループや文化活動の活性化を図る。 ・新刊図書を紹介する。 	通年	地域住民	
18	各種団体サークル活動の支援	<p>①各団体の自主的運営を援助し相互の交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成協議会 ・体育協会小糸支部 ・小糸婦人会 ・シニアクラブ小糸支部 ・小糸地区社会福祉協議会 	通年	各種団体サークル	
		<p>②(仮)陶芸教室</p> <p>サークル団体と小糸公民館が共催で陶芸教室を開催することで、サークル会員の増加・活動の促進を図る。</p>	9月11日 25日 10月16日 全3回 水曜日	一般成人 10名程度	

令和6年度事業予算概要

小 糸 公 民 館

(単位：千円)

予算科目	事業名	予算名	事業費	財源内訳
社会教育費	公民館運営審議会	公民館運営審議会関係費	337	一般財源
	公民館だより発行事業（年4回発行）	コミュニティ活性化事業	257	一般財源
	第53回小糸地区文化祭		53	
	小糸親子教室	青少年教育事業	20	一般財源
	チャレンジスクール		28	
	子どもキャンプ		7	
	20歳のつどい		10	
	家庭教育学級	課題解決学習推進事業	158	一般財源
	高齢者学級 （いきいき学級）		37	
	防災講座		12	
	（仮）こいとまち歩き		15	
	プレイルーム関係事業	地域子育て支援拠点事業	386	一般財源・国庫補助金・県補助金（生涯学習文化課予算）
	公民館の管理運営に関する事業	公民館管理運営事業	445	一般財源 ・その他
合 計			1,765	

清和公民館

1 基本方針

- (1) 自ら考え、仲間と行動する心豊かな人づくり（育ちあい）をとおして明るく活気のある住みよい地域づくりに貢献する。
- (2) 住民の自主的学習、文化スポーツ活動の拠点としての役割を高め、地域文化の継承発展に努める。
- (3) 住民が主体となった地域づくりや住民自治の充実に向け、暮らしに即した公民館活動を積極的に展開する。

2 令和5年度の成果と課題

【成果】

- ・清和地域拠点複合施設開館記念式典を文化祭と一体的に開催し、サークルや地域団体との相互の関係性を強化することができた。
- ・「おうち時間を楽しむ講座（パン作り講座）」の実施により、サークルが発足し、地域内外の人が継続的に交流できる場を創出することができた。
- ・清和の魅力を市内外に発信する「清和の魅力探訪ウォークガイドブック」の作成に協力し、発行することができた。

【課題】

- ・新施設を活かし、地域の活性化に貢献できるよう今後も既存のサークル・地域団体との関係性を強めていきながら、新たな団体との関係づくり、公民館事業の新たな展開を積極的に進めていく必要がある。
- ・地域活性化に資するため、既存サークルへの積極的な支援や新たなサークルが生まれるような講座を継続的に実施していく必要がある。
- ・「清和の魅力探訪ウォークガイドブック」の内容を活用したパンフレットの作成など清和の魅力を発信し続けるための工夫を検討していく必要がある。

3 令和6年度重点目標

- (1) 「人がつどい、にぎわいが生まれる、新たな地域の拠点」となるための基盤づくり
 - ①施設の使用方法の周知や体験会の実施をとおし、新たな施設の積極的利活用の促進を図る。
 - ②複合施設であることを活かした取組や相互の連携を積極的に進める。
- (2) 地域活性化、にぎわい創出につながる事業の展開
 - ①サークルや地域団体の活動支援や新たなサークルを生み出す事業の実施。
 - ②清和地域の抱える課題に対応し、持続可能な地域づくりを目指す「地域活性化センター事業」への側面支援を行う。

4 令和6年度の重点取組分野及び主な予定事業

「地域活性化・にぎわい創出」

清和地区は少子高齢化率が著しい地域であり、人口減少に加え、地域活動の担い手不足や地域の衰退・縮小が課題となっているため、「地域活性化」や「にぎわい創出」につながる取り組みの充実を目指す。

※主な予定事業「じぶん時間を楽しむ講座」「地域団体の活動支援」「地域活性化センターの側面支援」など

5 令和6年度事業計画

(1) 公民館運営審議会

No.	事業	目的及び主たる内容	時期・回数	対象・人数	備考
1	小糸・清和地区公民館運営審議会	公民館事業の企画・実施、施設整備について総合的に調査審議すると共に住民の意見を反映する。 ◇年間4回の実施 ◇館長の諮問に対する答申	5月～3月 4回	公運審委員 8名	

(2) コミュニティ活性化事業

No.	事業	目的及び主たる内容	時期・回数	対象・人数	備考
2	第52回清和地区文化祭	地域住民の学習・文化活動の発表・交流・発展の場づくりを目指し、サークル団体の作品や、機関の活動紹介展示を行う。	令和6年 11月9日(土) ～10日(日)	サークル 団体・機関 地区住民	
3	公民館だより「館報せいわ」発行	地域の情報紙として、意見交換の場、公民館活動等の掲載を通して、地域の動き、人々の暮らしをありのままに伝えると共に地域を見つめ直し、前進させる1つの原動力にしていく。	年間4回	地区全世帯 各機関など	よる編集委員に発行
4	地域団体・関連機関との連携 NPOいきいき清和主催「体験せいわ学」	NPO法人いきいき清和や清和地区体育協会など、地域内の各種団体との連携を図ることで、地域コミュニティの維持に寄与する。また、清和地区外の人を参加対象にすることで、関係人口の拡大を図る。	年間14回 内9回共催実施	小学生以上	
	「清和の魅力探訪ウォーク」	清和地区内を会場としたウォーキングを通じて、清和の魅力を再発見すると同時に、地区外へ発信する機会とする。	5月19日(日)	小学生以上 各回30名	H28～
	お飾りづくり教室	生活文化の伝承を通じて、世代間交流や地域内外住民の交流の場とする。	12月15日 (日)	一般市民 30名	R2～ 共催
5	利用者交流会	・利用者相互の交流と連携を深める。 ・公民館についての理解を深め、公民館活動の発展を図るために、移動学習や意見交換会等を実施する。	◇交流会 4月14日(日) ◇説明会 9月上旬予定	サークル 団体	
6	利用者説明会 意見交換会	◇移動学習 ◇説明会 ◇館内外美化活動	◇館内外美化活動 10月中旬予定		

7	青少年健全育成活動	青少年相談員・PTA学校関係者・民生児童委員等を始め、シニアクラブ・婦人会等地区内関係団体機関・清和地区自治会連絡協議会等の連携を図り、地域の子どもを支える体制づくりに寄与する。	通年	機関・団体 地区住民	
8	サークル団体活動への援助	婦人会・青少年相談員・シニアクラブ・無形民俗文化財保存会との連携を進める。サークルへの援助も行う。	通年	サークル 団体	

(3) 青少年教育事業

No.	事業	目的及び主たる内容	時期・回数	対象・人数	備考
9	子ども教室「遊びの王国」	子どもの人口が減少する地域環境の中、異年齢集団で活動できる機会を提供する。 ◇工作体験活動・集団遊びなど	平日の午後 (昼休み、 放課後等)	小学生 20名程度	
10	子ども防災キャンプ	新施設を会場に避難所体験を行うことで、地域の異年齢交流を進めると共に防災力の向上を目指す。 ◇一部親子教室と併せて実施 【会場：清和公民館】	9月頃 ◇事前研修 8月予定	小中学生 40名程度	共催 青少年相談員
11	たこづくり教室	自分の力で物を作る喜びを体験し、創造性を育てる。 地域住民の協力で開催することで、地域文化の子どもへの伝承を図る。	調整中 新春ちびっこ 大会で凧揚げ 大会を開催	小学生 40名程度	青少年相談員 運営協力…
12	新春ちびっこ大会	昔から伝わるお正月の遊びを伝承する機会を持つと同時に、集団による遊びの楽しさを味わい、仲間の輪を広げる場とする。 ◇君津ふるさとかるた・新春運試し大会・凧あげ・こま回し等	令和7年 1月11日(土)	地区内の 子ども	青少年相談員 社会福祉協議会 民生児童委員共催
13	20歳のつどい	20歳の節目となる門出を祝い励ます行事を通じて、成人を迎えた自覚を持つことのできる機会や、地域住民との交流を深める機会を提供し、青年教育の推進、地域の活性化を図る。	式典 令和7年 1月12日(日)	周東中学 校区の対 象者	対象者を中心に 実行委員会を組織

(4) 課題解決学習推進事業

No.	事業	目的及び主たる内容	時期・回数	対象・人数	備考
14	子育て支援事業 親子教室	親と子どもが共に活動に取り組み、時間や体験を共有することで、親子でのふれあいを深めながら育ちあいを図る。 ◇移動教室、調理実習など	6月～2月 7回程度	清和地区在住の乳幼児～中学生の子どもを持つ保護者	
15	子育て支援事業 子育て講演会	子育てや家庭生活に関する課題をテーマとした、学習・情報交換の場を提供することで、子育て世帯の仲間づくりや孤立化予防を図る。	調整中	清和地区在住の子育て世帯	
16	じぶん時間を楽しむ講座	地域間交流や多世代交流を図る事業として、身近な内容を題材に趣味教養講座を実施する。また、参加者の主体性を育むことを目的に、講座終了後のサークル化を図ることでサークル活動の活性化を目指す。	7月～10月 3回程度	一般成人 20名 ※清和地区 在住者を優先	
17	大人の学校	①参加者同士や多世代間での交流を図ることで、高齢者世帯の孤立化予防に寄与する。 ②体操や介護予防など、健康に関する話題について学ぶことで、心身ともに豊かな生活を送ることを目指す。	6月～3月 10回程度	60歳以上 30名	

(5) その他

No.	事業	目的及び主たる内容	時期・回数	対象・人数	備考
18	清和地域活性化センター事業の側面支援	清和地域の抱える課題に対応し、持続可能な地域づくりを行う。 ◇清和の暮らしとシゴトづくり実践事業、サイクリスト立寄り拠点強化事業、デジタル工作機器活用事業など	通年	地区内外住民・関係団体	
19	展示活動	主催事業報告・館報・地域の情報等を掲示する。	通年	サークル団体	
20	施設の維持管理	職員や利用者の創意工夫を活かし、利用環境の維持向上に努める。必要な備品を購入し、機能性を高める。	通年	施設	
21	図書館活動	新刊図書の新刊購入やリクエストに対処し、中央図書館清和分室としての役割を果たす。	通年	地区住民	

令和6年度事業予算概要

清和公民館

(単位：千円)

予算科目	事業名	予算名	事業費	財源内訳
社会教育費	公民館だより発行事業（年4回発行）	コミュニティ活性化事業	327	一般財源
	第52回清和地区文化祭		21	
	体験せいわ学		23	
	利用者説明会・交流会		5	
	放課後子ども支援事業「遊びの王国」	青少年教育事業	22	一般財源
	子どもキャンプ		10	
	凧作り教室		6	
	20歳のつどい		14	
	子育て支援事業 ・子育て講演会 ・親子教室	課題解決学習推進事業	28	一般財源
	高齢者学級（大人の学校） ・健康づくり講座 ・多世代交流事業 ほか		30	
	趣味教養事業（じぶん時間を楽しむ教室）		24	
	公民館の管理運営に関する事業	公民館管理運営事業	833	一般財源 ・その他
	合 計			1,343